



2024年度 環境経営レポート

株式会社山田製作所 56期 2024.02～2025.01



《目次》

• 経営理念 行動理念	P3	• 環境管理体制図	P9	• 環境関連法規規制等の遵守状況	P18
• 品質方針 品質目標	P4	• 設備一覧	P10	• 代表者による全体の評価と 見直し・指示	P19
• 環境経営方針 環境行動	P5	• 表彰・資格・認定	P11	• スキルマップ・キャリアマップ	P20
• 組織の概要 事業内容 ワイデクル事業(自社商品)	P6 P7 P8	• 主な環境負荷の実績	P12	• 社員の声	P21
		• 年度目標と実績推移表	P13	• 2024年度環境活動の紹介	P22 ～
		• 環境目標及びその実績	P14	• 2024年度トピックスの紹介 工場見学	P28 ～
		• 環境活動計画及び取組結果と その評価・次年度の取組内容	P15 ～ P17	• 世界各国からの見学-国旗-	P29

《経営理念》

「私達は、モノづくりを通じて社会に
貢献する文化型企業を創ります」

《行動理念》

- 二、感謝の誠心で人と人とのつながりを大切にし、研鑽を高め自己実現を成し遂げます。
- 一、私達がつくり出すモノは、豊かな社会創りを担うものでありそれを誇りとします。
- 一、感性を高め、時代の変化に対応し、顧客の満足と信頼関係を追及し続けます。

《品質方針》

図面の向こうに見える、最終ユーザーの満足を追求する。

- 我々が造る商品は、自信を持って顧客の満足以貢献しなければならない
- 図面と対話すれば必ず最終顧客が何を求めているのか判る
- 品質とそれを作り出す人の質は比例する、ゆえに品質とは我が社の経営理念を追求することでもある

《2024年度品質目標》

1. 「スキルマップ取得率 47.0%以上」
2. 「人時生産性 4,365円以上」
(限界利益額/年間総稼動時間)

《環境経営方針》

当社経営理念に謳っている「感謝の誠心」の意味の中に
“自然に感謝”がある。

この理念を追求するために、全て事業活動において
地域環境・地球環境に感謝し、
そして保全活動を自主的・積極的に追求する。

【環境行動】

- | | |
|-------------------|------------------------|
| (1) 地球温暖化物質の削減 | (2) 資源の有効利用 |
| (3) 廃棄物の削減 | (4) 環境関連法規の遵守 |
| (5) EA21EMSの継続的改善 | (6) 原料及び事務所用品のグリーン購入 |
| (7) 環境に配慮した製品の製作 | (8) 働き方改革を支援する製品の開発と販売 |

【明るい宣言】

私達は、日本一明るい「共に育ちあう」企業を作ります。



《組織の概要》

【名称及び代表者名】

株式会社山田製作所
代表取締役社長 山田 雅之

【所在地及び連絡先】

〒574-0056 大阪府大東市新田中町2-41
TEL：072-871-0095/FAX：072-871-3103
Mail：info@yamada-ss.co.jp
URL：<https://www.yamada-ss.co.jp>

【環境管理責任者氏名及び担当者】

環境管理責任者：大西 健治
環境事務局：富尾 美結

【事業活動】

製缶・板金製品の製造、
産業用設備の設計及び製造

【事業の規模】

社員数：14名（2025年1月）
延べ床面積：740㎡
売上高：2億7千万円

【事業年度】

2月～1月

【認証範囲】

全社全活動

《組織の概要》

【事業内容】

製缶・板金

圧力容器
タンク
ホッパー
機械フレーム架台
機械カバー

乾燥機部品

保温パネル
保温扉
吹出ノズル
コンベアプレート
ダクト・ダンパー等

設計開発製品

乾燥機及び炉

並行流乾燥機
バンド式乾燥機
フィルム乾燥機
粉体乾燥機
加熱炉



《組織の概要》【ワイデクル事業(自社商品)】

ワイデクル事業部が『働き方改革への提案』をいたします！

設計・製造のプロ **最強タッグ** デザイン企画提案のプロ
 山田製作所 X 今井広告研究所

『Y-declワイデクル』= 山田製作所 x 今井広告研究所

設計・製造を山田製作所が行い、企画提案・デザインを今井広告研究所で考え互いの得意分野で力を発揮させ生まれたのが『Y-decl』です。

ワイデクルの『3大解決ツール』

残業時間削減/顧客へ安心を提供/業務の管理スキルの向上/の実現をお手伝い！



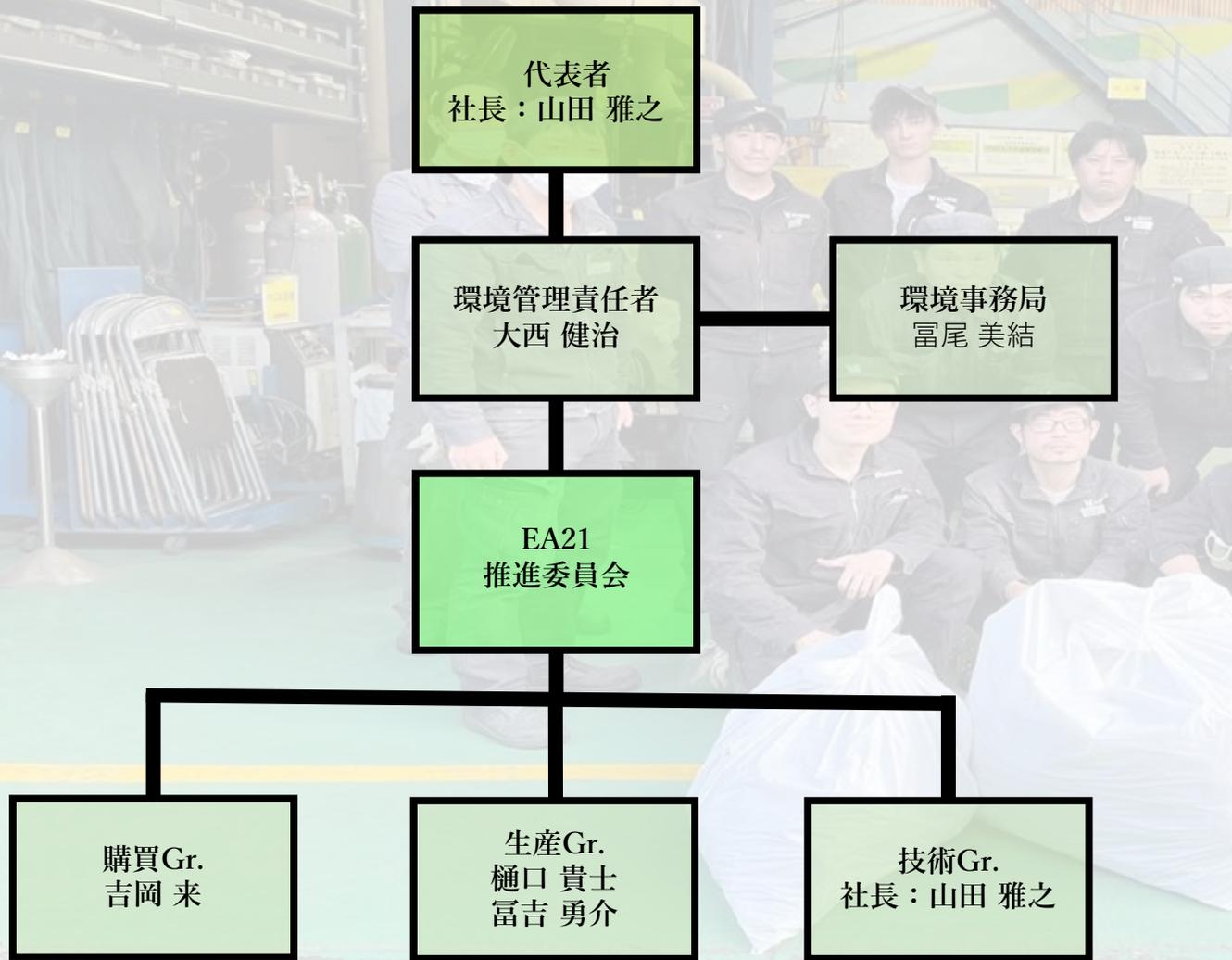
ワイデクル管理ボード

ちよくれポ

パルフェ帳



《環境経営組織図及び役割・責任・権限表》



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

《設備一覧》

- ・NCシャーリングマシン t6×3100mm
- ・NCプレスブレーキ 3100mm・2550mm
- ・NCセットプレス 500mm×2000mm
- ・パワープレス 100ton～15ton
- ・メタルソー
- ・旋盤 6尺
- ・フライス盤 2#
- ・直立ボール盤 ・卓上ボール盤
- ・ベンディングロール
- ・スポット溶接機
- ・TIG溶接機
- ・CO2溶接機
- ・交流アーク溶接機
- ・ファイバーレーザー溶接機
- ・エアープラズマ切断機
- ・ポジショナー
- ・ターニングローラー
- ・天井ホイストクレーン2.8ton
- ・2次元CAD ・3次元板金CAD
- ・**NEW**IRON CAD (3DCAD)



NCプレスブレーキ2550mm



NCシャーリングマシン



NCプレスブレーキ3100mm



ファイバーレーザー溶接機

《表彰・資格・認定》



・ISO-9001 認証取得

2002年6月



・大阪府中小企業家同友会 経営品質大賞受賞

2009年4月



・経営革新支援方認定

2004年9月



・関西IT百選入選

2010年10月



・エコアクション21認証取得

2005年10月



・キャリア支援企業表彰
中央職業能力開発協会会長奨励賞

2012年12月



・大阪府品質管理推進優良企業表彰

2006年3月



・同友エコ2012 CO2削減賞

2012年10月



・大阪府ものづくり優良企業表彰

2009年3月



・(社)日本設備管理学会 ものづくり大賞受賞

2014年5月



・関西ものづくり優良企業100選認定

2009年3月



・大阪府男女いきいき元気宣言事業者採択

2014年12月



・経済産業省 元気なモノづくり企業300社表彰

2009年4月



・第一回学生に教えたいたい働きがいある企業
大賞奨励賞

2018年9月

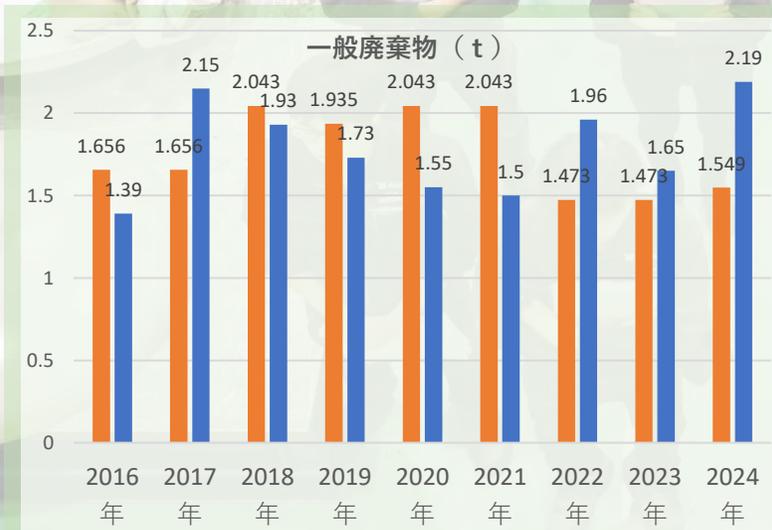
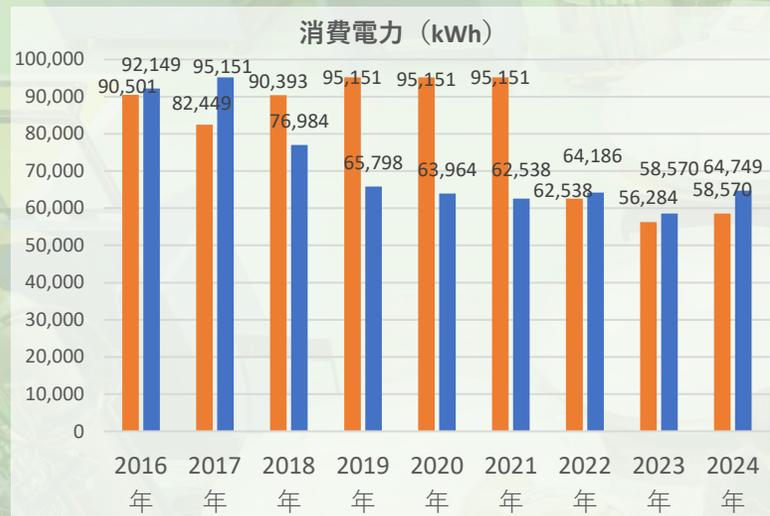
主な環境負荷の実績

項目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量	kg-CO2	71,972	52,143	52,685
一般廃棄物	トン	1.96	1.63	2.19
水使用量	m ³	226	169	175

- * 電力の二酸化炭素排出量換算値：0.532 kg-CO2/kWh
- * 二酸化炭素排出量はエネルギー総量のデータ
- * 一般廃棄物は可燃ごみを対象

年度目標と実績推移表

■ 目標
■ 実績



環境目標及びその実績

項目	年度	基準年	2024年		2025年	2026年
			目標	実績	目標	目標
電力 (kg-CO2)	2023年	基準値	28,043	34,446	26,485	24,927
		31,159				
自動車燃料 (kg-CO2)	2023年	基準値	18,888	16,018	18,697	18,506
		19,079				
一般廃棄物 (t)	2023年	基準値	1.55	2.19	1.47	1.39
		1.63				
水使用量 (m ³)	2023年	基準値	165	175	162	158
		169				
人時生産性(円)	—	基準値	4,365	4,111	変動	変動
		変動				
課題を解決しチャンスを活かす取組		管理ボード販売台数 10台	4台	変動	変動	

- * 電力の二酸化炭素排出量換算値：0.532 kg-CO2/kWh
- * 基準年を2021年から2023年に変更
- * 可燃ゴミの質量計算は10kg/袋を実質量として計算する
- * 灯油は負荷が少ないため目標としない
- * 事業活動に伴う産業廃棄物の発生は、
金属スクラップ：売却、木材パレット：材料メーカーへ返却
- * 廃プラスチック：少量のため一般廃棄物に含む

環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容



取り組み計画	達成状況 (基準年度比)		評価 (結果と今後の方向)
[電力の削減]	基準年度 (2023年)		≪ 目標 達成 未達成 ≫
デマンド値管理 不要照明の消灯 クールビズ運動 設備の空運転防止 工程ロス削減による稼働時間短縮 エアコン使用ルールの徹底 LED化 徹底した3S レイアウト変更 電灯類の節電表示・標識	31,159	kg-CO2	・目標対比：+11% ・今年度は会社の稼働時間が増えたことにより、全体的に電力の使用頻度が増え累計目標は達成できませんでした。但し原単価は基準年に対して低かったため、生産性は基準年より高い結果となったことは良かったです。 次年度は基準年からの削減率を15%にします。
	目標		
	28,043	kg-CO2	
	実績		
	34,446	kg-CO2	
	削減率		
	+11	%超過	
[自動車燃料の削減]	基準年度 (2023年)		≪ 目標 達成 ・ 未達成 ≫
アイドリングストップ 急加速・急停車の防止 冷暖房の控え目使用 燃費マーク付きの車の購入（更新時） 近場への買い物時は、使用を控える 徹底した3S 納品回数の削減	19,079	kg-CO2	・目標対比：-16% ・今年度は単月で目標が達成出来なかったのはひと月だけで、累計目標は達成出来ました。例年、納品する機会が多い顧客の受注が減ったことが良い結果につながったと思います。 次年度は基準年からの削減率を2%にします。
	目標		
	18,888	kg-CO2	
	実績		
	16,018	kg-CO2	
	削減率		
	-16	%削減	

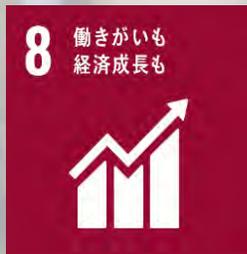


環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容



取り組み計画	達成状況 (基準年度比)		評価 (結果と今後の方向)
[一般廃棄物の削減]	基準年度 (2023年)		≪ 目標 達成 未達成 ≫
裏紙使用 ミスコピーの防止 分別による古紙のリサイクル化 古紙のリサイクル封筒作り (山陽製紙協力) 帳票見直しによる印刷物の削減 両面印刷 徹底した3S コピー用紙のリユース(山陽製紙(株)カミデコ)	1,630	kg	・目標対比: +34% ・今年度は会社の稼働時間が増えたことにより、全体的に廃棄物の量が増え累計目標は達成出来ませんでした。しかし、廃棄物の削減に向けて意識は出来ていたとおもいます。 次年度は基準年からの削減率を10%にします
	目標		
	1,549	kg	
	実績		
	2,190	kg	
	削減率		
+34	%超過		
[水道水の削減]	基準年度 (2023年)		≪ 目標 達成 未達成 ≫
節水呼びかけ 節水弁取付け 徹底した3S 節水を促す掲示物の貼り付け	169	m ³	・目標対比: +4% ・今年度は、電解処理をしている仕事がある時とない時での使用量の差が大きくあった普段から節水を心掛けるとともに電解処理をしないといけない製品がある場合には、水洗いをしない時は、必ず元栓から閉めることを徹底していきましょう。 次年度は基準年からの削減率を4%に設定します。
	目標		
	165	m ³	
	実績		
	175	m ³	
	削減率		
+4	%削減		

環境活動計画及び取組結果とその評価・次年度の取組内容



取り組み計画	達成状況		評価 (結果と今後の方向)
[人時生産性]	目標		≪ 目標 達成 未達成 ≫
人時生産性 4,365円以上 (限界利益額/年間総稼動時間)	4,365(47.0%)	円/%	・目標対比：-254円/+0.4% ・スキルマップ取得率は47.4%で目標を達成しました。人事生産性については目標に対して250円程低くなりました。下半期は単月目標を3ヶ月達成出来ていたの良かったです。スキルアップをもう少し高めて人事生産性を上げていきたいです。 次年度目標 人時生産性 4,315円以上 スキルマップ取得率44%以上 (開始時42.8%)
「スキルマップ取得率47.0%以上」 (56期スキルマップ取得率45.9%に対して1.1%アップさせる)	実績 4,111(47.4%)	円/%	

取り組み計画	達成状況		評価 (結果と今後の方向)
[働き方改革を支持する製品の開発と販売]	目標		≪ 目標 達成 未達成 ≫
ワイデクル管理ボードの販売	管理ボード 10	台	展示会の趣旨に合わせて、ワイデクルか本業かどちらかに絞っての出展をする必要がある。これからは社員を主体とした広報グループを作り出展方法を考えていくようにしたい
ちよくレポの販売	管理ボード 4	台	

環境関連法規規制等の遵守状況

法規制等の名称	該当する施設等	関連条例による規制	環境関連法規制への違反、訴訟の有無
廃棄物処理法	一般廃棄物 (紙・木くず・生ごみ等)	12条3項 規則8条の2	無
騒音・振動規制法	空気圧縮機 (5.5kW 1台) せん断機 (11kW 1台)	大阪府条例	無
水質汚濁法	塗料置場潤滑油置場 灯油置場	—	無
フロン排出抑制法	業務用空調機	—	無
高圧ガス保安法	ボンベ類の転倒防止 40℃以下、警戒標など	—	無
自動車リサイクル法	自動車	—	無
消防法	シンナー 18ℓ 灯油 100ℓ以下	市町村火災予防条例	無
大阪府生活環境の保全等に関する条例	軽四輪を除く商業ナンバー (4ナンバー) 車	大阪府が交付する適合車等	無

※環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

《見直し・指示》

◇環境方針◇

設計レベルでの環境を意識したモノづくりをしていく。

◇環境経営目標・環境経営計画◇

環境を意識した設計からのモノづくりを目指していく。

◇実施体制他◇

売上、仕事量を確保し、社員1人ひとりのスキルを上げていく必要がある。

《総括》

情報の見える化が必要。昨年導入したキントーンなどを駆使して情報共有をはかり、取りこぼしの無い営業活動を行う。

設計力を強化し、こちらから仕掛ける営業をしていくことで環境への対応も行う。

BCMの推進を行い、災害時の対応を計画する。

環境経営方針は変更なし

環境経営目標・計画は変更なし

実施体制は強化する

株式会社山田製作所
代表取締役社長

山田 龍之

実施日：2025年3月17日

【品質目標】

1. 「スキルマップ取得率 47.0%」

(56期スキルマップ取得率45.9%に対して1.1%アップさせる)

2. 「人時生産性 4,365円以上」
(限界利益額/年間総稼動時間)



管理能力の向上

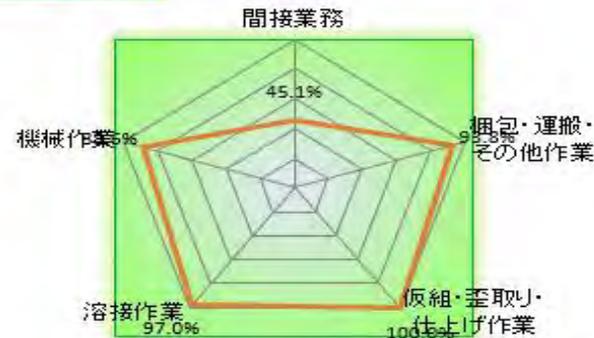
不適合品及びクレーム品の削減
環境に負荷をかけないモノづくり

生産能力の向上

スキルマップの掲示

技能・技術の向上

樋口 貴士



キャリアマップの掲示



社

員

の声

3Sリーダーの馬場です。
エコに繋がる3S活動として楽しく改善していくと
共にリーダーとしての**自覚**を高めます。



環境活動の紹介

2024年11月19日に毎年恒例の全社員参加の
消防・救命訓練を行いました。

消防訓練では、通報訓練、消火訓練、避難訓練の実施、また救命救急訓練では、心肺蘇生法、AEDの使用法について学びました。しっかりと指導を受けて受講出来たと思います。そして、実際にその局面に遭遇した場合に自然と身体が動くように訓練は重要だと改めて感じました。

緊急事態
の備え

消防訓練の様子

救命訓練の様子



環境活動の紹介

～2024年度～

山田製作所の

3S活動のこと



弊社が掲げている **3S活動**とは、

- ・ **安全**
- ・ **快適**
- ・ **効率的**な職場を作ることを目的としています。

その為には **徹底した**

「整理、整頓、清掃」が不可欠なのです。

そして、**3S活動**を追求していくことこそが
環境への取り組みに繋がっていくと考えています！



12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさを
守ろう



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



山田製作所の3Sとは？

環境活動の紹介

～2024年度～

山田製作所の

3 S活動のこと



山田製作所の
徹底した!

整理

とは、

要るもの

(生品)

「直ち(4時間以内に)必要な物」

急がないもの

(休品)

「5日以内に必要な物」

当分要らないもの

(長休品)

「6ヶ月以内に必要と思われる物」

要らないもの

(死品)

「6ヶ月以上使用しなかった物」

以上4つに区別します。

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

この整理のルールに基づくことで、

「必要な時に必要な分だけ」になり、
在庫のムダを排除することが出来る上、
本当に必要なのか? を考えるきっかけになる。

= ECO

その結果...

さらに追及
していくと...

生産革新(モノの作り方)に繋がっていきました!

環境活動の紹介

～2024年度～

山田製作所の

3S活動のこと



山田製作所の
徹底した!

整頓

とは、「いつでも誰でもが、要るものをすぐ(60秒)に取り出せる様に並べ置くこと」
その為に以下の5頓を徹底する。

定位置	「いつも同じ位置、押しても引いても動かない」
定量	「決めた最大数～決めた最小数」
定方向	「いつも同じ向き」
表示	「その物に表示する」
標識	「その場所に標識をつける」



その結果...

この整頓のルールに基づくことで、
在庫のムダ、移動のムダ等を防ぐことができる。

= ECO

さらに追及
していくと...

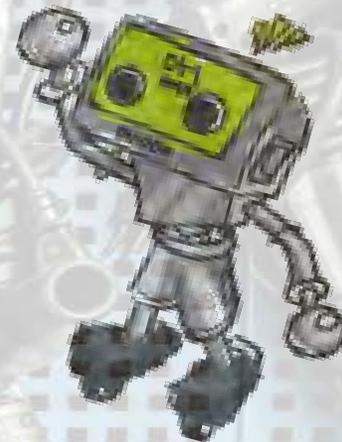
説明せずとも誰もが守る仕組み作り

環境活動の紹介

～2024年度～

山田製作所の

3 S活動のこと



山田製作所の
徹底した！

清掃

とは、ゴミなし
チリなし
ホコリなし
汚れなし
ピカピカ

「手で掴める」
「指で掴める」
「フツと吹けば飛ぶ」
「拭けばとれる」

さらに追及
していくと…

気づく力が身につき、そして継続していく力となっていました！

これらの徹底した
3S活動をしていけば…

ECO

に自ずと繋がっていく考えます！

これからも山田製作所の **徹底した** **3 S活動**を通して
環境への取り組みを進めていきたいと思っております！！



環境活動の紹介

24年度トピックスの紹介 ～大阪リ・エンジニアリング研究会～

公益財団法人大阪産業局 さま

4 質の高い教育を
みんなに



現場革新の礎をつくる
「3S活動」を推進する団体
大阪町工場4社の研究会

1999年5月のキックオフから
愚直に徹底トコトン
3Sの整理・整頓・清掃

3Sを学び続けて**25年**

を迎えました。

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



24年度トピックスの紹介～工場見学～

3Sスローガン



2024年も国内外から
たくさんの企業さま
が来られました。



「良い現場は最高のセールスマン」
「守ることを決めて、決めた事を守る」
「人が変わる、そして会社が変わる」



企業さまだけでなく
学生さんも
来られました。



弊社の「3S活動」(整理・整頓・清掃)を見学に様々な企業さまが来られます。28

今まで世界68カ国から見学に来ていただいています





私達は凶面の向こうに見える
最終ユーザーの満足を追求します！

ご覧いただき、ありがとうございました。
来期も“徹底した3S”と共に環境活動に取り組めます。

